

# TOSA REHABILITATION COLLEGE

# TOSAREHA

## 未来会



### Contents

- 30期生歓迎会のお知らせ
- 定期総会・勉強会
- 伝説のその先へ。新たな「未来会」を！
- 29期生歓迎会のお礼
- 新人（29期卒）からの一言
- 学術部からの“報告”と“お知らせ”
- 宮本 謙三校長 「理学療法業務功労者 厚生労働大臣表彰」受賞のご報告
- 未来会会員の活躍
- 論文紹介
- 2025年度科学研究費助成事業（研究活動スタート支援）に作業療法学専攻教員3名が採択
- 公益信託高知新聞・高知放送 生命の基金
- 新教員の紹介
- 第35回 四国作業療学会（高知）開催に向けて
- 第94回日本体力医学会中国・四国地方会 開催報告
- 6期卒 作業療法学科同窓会 開催報告
- 卒業生の業績案内と活用方法
- 公式LINEへの登録のお願い
- らくらく連絡網における情報共有サービス終了のお知らせ
- 土佐リハからの重要なお知らせ ～卒業生のアカウント削除について～

機関紙

No. 28

2026. Spring

# 30期生歓迎会のお知らせ

30期生ご卒業おめでとうございます！

これから未来会会員として、共に研鑽していきましょう！

令和8年3月7日(土)、第30回目の卒業式が挙行されます。本年度は、理学療法学科21名、作業療法学科31名が卒業し、新たな人生の第一歩を歩み始めました。2年前から対面で歓迎会を再開しており、今年も昨年に引き続き対面で盛大に新卒者歓迎会を開催したいと思います。

当日の夜は歓迎会、昼間は未来会総会と勉強会も開催しますので、是非皆さまお誘い合わせのうえご参加ください！

【日時】 令和8年6月20日(土) 19時～

【場所】 さざ波

高知県高知市はりまや町1-3-8 1F

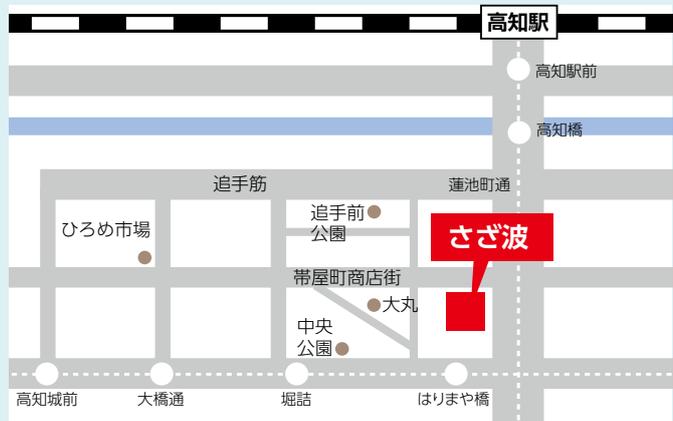
TEL 088-826-8373

【会費】 5,000円(30期生は無料)

会場Map 二次元コード



<https://www.hotpepper.jp/strJ003763185/?vos=hpp037&bcd=pc>



全会員、定期総会アンケート（下記二次元コード）よりご回答ください。

アンケート〆切  
5/15(金)



<https://forms.gle/jGrRgwGT2N6e3C349>



## 定期総会・勉強会

【日時】 2026年6月20日(土) 定期総会15:00～15:45 勉強会 15:45～16:45

【場所】 土佐リハビリテーションカレッジ(高知健康科学大学) 1F大会議室

対面とZoomのハイブリッド開催 (Zoomの詳細は後日、メールでお知らせします)

【テーマ・講師】

『今後の理学療法士・作業療法士に期待すること』

梶 秀人先生(高知健康科学大学 作業療法学専攻 教授)

# 伝説のその先へ。新たな「未来会」を！

同窓生の皆様、こんにちは。「未来会」会長の竹林秀晃です。

私は土佐リハ1期生として、設立当初より「伝説に残るような、誇れる同窓会にしたい」—そんな思いを胸に活動を続けてまいりました。実際に誇れる会になったかは皆様の判断に委ねますが、多くの仲間を支えられ、ここまで歩んでくれたことに深く感謝しています。

さて、母校は今、「高知健康科学大学」へとその魂を引き継ごうとしています。この変革期は、同窓会にとっても進化の時です。時代に合った組織の若返りと活性化を図り、より柔軟で力強い「未来会」へと進化させるため、私は会長職を退き、初となる「役員選出」によって次世代へバトンを託すこととしました。

これは、未来会発展のための挑戦です。「土佐リハの流れを汲むこの会をもっと面白くしたい」「貢献したい」。そんな熱い志を持つ方、ぜひ立候補してください。多くの挑戦をお待ちしています。

未来会会長 竹林秀晃

## 未来会 執行部役員選出の要件（定員12名程度）

### 1. 立候補資格

- ・未来会の会員として在籍があること
- ・利害関係：団体の利害に重大な影響を与える外部組織に属していないこと

### 2. 選出権・被選出権

- ・会員であること

### 3. スケジュール

- ・立候補受付期間：選出期間の前月1カ月間（公式LINEより案内）
- ・選出期間：令和8年5月11日～5月17日（7日間）
- ・開票・結果発表：通常総会時

### 4. 投票方法

- ・投票形式：無記名投票（重複投票の防止のためメールアドレスを収集する。個人情報未来会事務局が厳重に管理し、投票内容は厳守する）
- ・投票手段：オンラインフォーム
- ・投票数：1人最大立候補者数まで選出可能（重複不可）

### 5. 当選者の決定

- ・得票数の多い順に上位12名程度を役員として選出
- ・同票の場合：抽選で決定
- ・立候補者が定数以下の場合、無投票当選とし選挙は実施しない

### 6. 任期・再任

- ・任期：3年
- ・再任：あり

## 29期生歓迎会のお礼

土佐リハビリテーションカレッジ未来会の皆様、お忙しい中29期生の歓迎会を開いていただき誠にありがとうございました。今年も対面で開催する事ができ、先輩方や先生方に温かく迎えていただいたことを大変うれしく感じております。

入職して間もない時期であり、新しい環境や仕事に対する不安を抱えておりましたが、歓迎会にて先輩方からいただいた励ましや温かいお言葉は、これから臨床に臨む上で大きな後押しとなりました。また、個人的な相談にも乗っていただきありがとうございました。未来会は、全員が土佐リハビリテーションカレッジの卒業生であるからこそ、縦と横との繋がりを感じる事ができ、世代を超えて悩みを気軽に相談し合える場所だと感じることができました。私たち29期生も、先輩達に追いつけるよう努力を重ね、セラピストとしてスキルアップできるように日々精進して参ります。

未来会の皆様、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

田野病院 リハビリテーション部 藤崎 遥土 (PT29期卒)



## 新人(29期卒)からの一言

芸西病院 リハビリテーション部 精神科作業療法室

### 立道 咲喜(OT29期卒)

私は、臨床総合実習でお世話になった医療法人おくら会、芸西病院で精神科作業療法士をしております。

私は、今の自分の弱みを受け入れて、悔しさを忘れずに切り替え、翌日に重たい気持ちを持ち込まないといった意識ができるようになってきたと思います。そんな中で「ありのままのわたしでいい」と思えたのは、安心できる居場所があり、温かい上司や先輩方、他職種の皆様の存在があるからです。なにより、患者様と過ごす日々は新しい気づきや学びが混ざり合う時間であり、一人ひとりが自分らしく頑

張る姿に、わたしはいつも

勇気をいただいています。2年目が近づいていますが、また新しい自分に出会えるチャンスかもしれないと感じています。

これからも出会いを大切に。感謝の気持ちを忘れずに。そして、患者様の感情を想像し理解しようとする気持ちをもち、その人らしい表現を引き出せるように、患者様、ご家族様の人生に寄り添い続けられる作業療法士でありたいです。



済生会大阪北リハビリテーション病院

### 乾 良平(PT29期卒)

私は現在、済生会大阪北リハビリテーション病院で理学療法士として働いています。入職してからはプリセプターの先輩方にご指導していただきながら、評価の流れや治療の組み立て方、患者様との関わり方まで、臨床の基礎を学んでいます。実際の介入では、学校、実習地、そして現在の職場で経験させていただいていることの全てを踏まえ、目標達成のために患者様が本当に必要としている能力を見極め、患者様の生活様式に合わせた治療を行うことを意識しています。また、本院では定期的に症例発表を行っています。自分の担当患者様を振り返りながら整理することで理解が深まり、先輩方からのアド

バイスを受けて視野が広が

る良い学習の機会となっています。他のスタッフの発表を聴くことで新しい気づきも得られ、日々の臨床に活かすことができます。評価の解釈や目標設定などで悩むこともありますが、プリセプターや多職種の先輩方に相談しながら、より良い方法を探すことで自分の成長につなげています。

来年度より臨床に出て2年目となりますが、日々の臨床業務や勉強会を通して自己研鑽を行い、常に優しさや丁寧さを大切にして患者様と向き合い続けます。



# 学術部からの“報告”と“お知らせ”

## 報告

### 令和7年度 未来会 勉強会実績報告

令和7年度に未来会では、以下のような内容で勉強会を開催しました。今後も出来る限りこのような機会を増やし、会員全体のレベルアップや交流につながればと思っています。

第1回	5月8日(木)	『点と線～移植領域におけるリハビリテーションの秘めた可能性～』 濱田涼太先生 (PT18期卒：京都大学医学部附属病院)
第2回	6月21日(土)	『これからの作業療法士・理学療法士に求めること ～土佐リハと高知健康科学大学との融合～』 宮口英樹先生 (高知健康科学大学 学長) 『土佐リハビリテーションカレッジと未来会の俯瞰』 川村博文先生 (高知健康科学大学 理学療法学専攻 教授)
第3回	8月21日(木)	『精神科デイケアでの私の取り組み』 北村剛先生 (OT18期卒：細木病院こころのセンターデイケアフレンズ)
第4回	9月18日(木)	『腎臓リハ、現場のリアルとコツ～基礎から臨床において～』 小林英悟先生 (PT9期卒：神明病院)
第5回	12月18日(木)	『ノーリフトケアを一年間実施し、学んだこと ～双方の健康的な生活を保証できるケアの実践について～』 住江知昭 (OT23期生：訪問看護ステーションおたすけまん)
第6回	1月28日(水)	『実践を含めたデータベースの作り方、データ分析について』 池本祐貴先生 (PT22期卒：いの町立仁淀川病院)
第7回	2月13日(金)	『OTとして行政と共同する意義』 大崎雅俊先生 (OT17期卒：HITO病院)

## お知らせ

### 令和8年度 未来会勉強会計画案

令和8年度の勉強会の予定は以下の通りです。WEB勉強会やハイブリッド（WEB+対面）勉強会が主な企画となっていますので、是非全国各地からご参加ください。詳細は開催1か月前を目途に未来会ホームページや公式LINE、Facebook等にてお知らせします。今回の企画以外でも、「こんなテーマの勉強会がしたい」、「〇〇先生の講義が聞きたい」、「土日祝に時間をかけて勉強したい」などの希望がありましたら、事務局までご連絡ください。

第1回	4月22日(水)	『脳画像×装具×触察～それぞれを臨床でどう生かすか～（仮）』 大森貴允先生 (PT9期卒：松山リハビリテーション病院)
第2回	5月	『生活行為の課題を認知神経リハビリテーションの視点から考える ～脳卒中後に上肢の過剰な力みを発揮する症例の治療経験から～』 國友晃先生 (OT15期卒：愛宕病院)
第3回	6月20日(土)	『今後の理学療法士・作業療法士に期待すること』 椀秀人先生 (高知健康科学大学 作業療法学専攻 教授)
第4回	8月	『なぜその治療を選ぶのか～痛みの理学療法における臨床判断～』 菅原仁先生 (高知健康科学大学 健康科学部 教授)
第5回	10月	『地域への復帰を目指して～高知ハビリテーリングセンターでの自立支援～』 青木菜緒先生 (OT期27卒：高知ハビリテーリングセンター)
第6回	12月	『オステオパシーとは？（仮）』 谷淵文章先生 (PT8期卒：オステオパシー施術院Good Heart)
第7回	2月	『多職域経験を通して考える精神科作業療法』 西洋平先生 (OT16期卒：海辺の社ホスピタル)

## 宮本 謙三校長「理学療法業務功労者 厚生労働大臣表彰」受賞のご報告

このたび、母校である土佐リハビリテーションカレッジの宮本 謙三校長が「理学療法業務功労者 厚生労働大臣表彰」を受賞されました。

この表彰は、理学療法をはじめとするリハビリテーション医療の分野において、多年にわたり業務に精励し、顕著な功績を挙げた方に授与される、厚生労働大臣による栄誉ある表彰です。

宮本先生は長年にわたり、理学療法の発展および地域リハビリテーションの推進、そして何より次世代を担うセラピストの育成に情熱を注いでこられました。さらに、高知県理学療法士協会の会長を歴任されるなど、組織の充実と人材育成に手腕を振るわれるとともに、県民の健康づくりや保健・医療・福祉の向上に多大な貢献をされました。

私たち同窓生にとりまして、恩師のこの度の受賞は大きな誇りであり、心より嬉しく思います。宮本先生の長年のご功績に深く敬意を表するとともに、心よりお祝い申し上げます。



2025年10月10日、「公益社団法人日本理学療法士協会創立60周年記念式典」にて、森光敬子医政局長より表彰を受けられた際の宮本校長。

## 未来会会員の活躍

### 第58回中国四国リハビリテーション 医学研究会 優秀発表賞 受賞

高知健康科学大学  
榎 勇人 (PT1期卒)



この度、第58回中国四国リハビリテーション医学研究会において発表した演題「地域高齢者におけるJerk Indexを用いた歩行の滑らかさの評価」が、優秀発表賞に選出されました。本演題は、私の研究テーマの1つである「動作の滑らかさの定量評価」に関するものであり、地域在住高齢者110名の歩行の滑らかさを定量的に評価しました。動作の滑らかさ(円滑性)は、動作の緩慢さや熟練度を判断する指標として

臨床現場で重視されている一方で、それを客観的に数値化できる評価手法は限られているのが現状です。本研究で用いたJerk Indexは、動作加速度の微分値である躍度(jerk)の実効値を、移動距離および時間で正規化した無次元指標であり、動作の滑らかさを定量的に数値化することが可能です。今回の結果では、高齢者の歩行の滑らかさが歩隔を介して間接的に転倒と関連する可能性が示唆されました。

本受賞は2014年以来2度目となりますが、今回の受賞を糧にして、今後は、高齢者の歩行の滑らかさの経年的変化を評価することで、歩行機能の変化を早期に捉え、転倒予防をはじめとした高齢者の健康寿命の延伸に貢献できるよう、引き続き研究を進めていきたいと考えています。

## 第34回四国作業療法学会 優秀賞 受賞

うめもとクリニック  
花田 智仁 (OT14期卒)



このたび、2025年9月に開催された第34回四国作業療法学会において優秀賞をいただきました。栄えある賞を賜り、企画・運営に尽力された学会長、事務局、実行委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

受賞表題は「地域活動における転倒予防と継続支援～作業療法士の役割と包括的支援体制の構築～」です。パーキンソン病とともに生活されている方が地域クラブ活動を安全に継続できるよう、情報共有や役割分担、住民の理解促進を図った取り組みを報告しました。その結果、転倒予防が長期的に実現され、ご本人の意欲やご家族の安心感、クラブメンバーの協力意識が高まる成果を得ました。

今回の受賞を励みに、今後も作業療法士としての専門性を活かし、地域に根ざした支援を続け、誰もが安心して活動できる社会づくりに貢献してまいります。

## 第18回高知県作業療法学会 優秀賞 受賞

細木病院こころのセンター デイケアフレンズ  
北村 剛 (OT18期卒)



今回発表した、デイケアでの就労支援～事業所見学を集団プログラム化する試み～は、もとは個人A氏の社会参加を促すことを目的に始めました。A氏はまだまだ働ける若さで作業遂行能力もまずまずのレベルでしたが、デイケアと自宅の間を往復する生活を続けていました。そんなA氏を何度か事業所見学に連れていくなかで、他にも見学したらよい刺激になると思われる利用者が複数いると気づき、それならいっそのことと集団プログラム化したのです。その後A氏は1年半弱かけて計15か所の事業所を見学し、最終的にB事業所に就労、現在も就労継続しています。集団プログラムの方も就労につながる利用者が複数出るなど成果をあげ、ポスター発表にまとめました。今回の発表で思いがけず優秀賞をいただき、ありがとうございます。皆さんの治療も、対象者のニーズに合わせて毎日かけがえのない治療を施されていることと思います。それらの治療の形を、是非学会で発表してみませんか。

## 第26回香川県作業療法学会 新人賞 受賞

だいいちリハビリテーション病院  
(前所属：三豊市立西香川病院)  
北川 敬士 (OT26期卒)



土佐リハ26期として卒業した私は、地元を離れて香川県の三豊市立西香川病院に入職しました。初めての土地で不安もありましたが、厳しくも優しい先生方や同期に支えられ、臨床で多くの経験を積むことができました。3年目には「何かひとつでも新しいことに挑戦したい」と思い立ち、人生初の学会発表に挑戦しました。仕事終わりに資料

作成や発表練習を重ねる日々は大変でしたが、たくさんの先生方のご指導とサポートのおかげで、香川県作業療法学会初となる新人賞を受賞することができました。当日は母校の片岡先生が特別講演に登壇されており、お世話になった先生の前で成長した姿を見せられたことは、何より嬉しい経験となりました。

その後、結婚を機に地元・高知県へ戻り、現在はだいいちリハビリテーション病院で勤務しています。今後は地元の先生方や土佐リハの同期と協力し、学会発表や地域活動などにも積極的に取り組み、学びを広げていきたいと考えています。

## MBA (経営学修士) を取得して

若宮病院  
道田 周明 (PT10期卒)



令和7年3月に、グロービス経営大学院を卒業し経営学修士の学位を取得しました。私が、大学院での学びを決めた経緯として、医療介護の経営に関して興味関心がある事に加え、他業界はどのような収益構造で成り立っているのか？そこでトップを走る企業の特徴を学び医療介護業界に活かしたいという願望からでした。

大学院在学時は、企業の管理職クラス、銀行員、医師、MR、起業家等々に囲まれて刺激的な時間を過ごす事ができました。学んだ内容としては、経営に関する要素(ヒト・モノ・カネ・情報)をベースに、マーケティング、経営戦略立案、イノベーション関連等を学びました。想像はしていましたが、これまでの知識・経験が一切通じず苦戦を強いられました。ただ、学びが深まるほど医療介護業界に対して、様々な視点で考える事ができるようになりました。

現在、通所リハビリテーションと、経営企画室を兼務しており、周辺地域の市場調査、新規事業の計画、不採算部門に対する改善策の提案等を実施しており、大学院時代と同じくらい刺激的な日々を過ごしています。

近年、医療介護を取り巻く経営環境が年々、深刻さを増している中で、安定した病院経営を継続させることで、間接的にはありますが地域住民の健康を守っていききたいと考えています。

## 論文紹介

## 国際論文掲載されました

土佐リハビリテーションカレッジ

稲富 惇一 (OT15期卒)

Physical & Occupational Therapy In Pediatrics, Volume 45, Issue 6 (2025)

### Normative Values and Factors Affecting the Pediatric Functional Reach Test in Japanese Children Aged 3-6 Years: A Cross-Sectional Study



Junichi Inatomi, Ieyasu Watanabe, Yuki Ikemoto, Hideaki Takebayashi

Physical & Occupational Therapy In Pediatrics に採択されました。

タイトルは「Normative Values and Factors Affecting the Pediatric Functional Reach Test in Japanese Children Aged 3-6 Years: A Cross-Sectional Study」です。本研究では、日本人の3~6歳の子どもを対象に、Functional Reach Test (FRT) の基準値の提示、予測式の作成、さらに年齢による違いについて検討しました。

本邦では、子どもの動的バランスを量的に評価できる指標がほとんどないことから、子どもや保護者、教育・医療関係の方々のお役に立てればという思いで着手した研究です。本文をご覧になりたい方がいらっしゃいま

したら、ご連絡いただければお送りいたします (otrc.inatomi@tosareha.ac.jp)。さまざまな場面で活用していただければ幸いです。

そして、Rehabilitation の領域で Q1 に分類される国際誌に採択されるという、一つの目標を達成することができました。ご協力いただいた子どもと保護者の皆さま、そして共著者の先生方に心より感謝申し上げます。今後も、学術の側面から社会に貢献できるよう努めてまいります。



Phys Occup Ther Pediatr.  
2025;45(6)doi:10.1080/01942638.2025.2535344  
38.2025.2535344

[https://www.tandfonline.com/doi/10.1080/01942638.2025.2535344?url\\_ver=Z39.88-2003&rft\\_id=ori:rid:crossref.org&rft\\_dat=cr\\_pub%20%20pubmed](https://www.tandfonline.com/doi/10.1080/01942638.2025.2535344?url_ver=Z39.88-2003&rft_id=ori:rid:crossref.org&rft_dat=cr_pub%20%20pubmed)

## Geriatrics誌に骨格筋の筋質指標に関する論文が掲載

奈良学園大学保健医療学部

滝本 幸治 (PT 4期卒)



an Open Access Journal by MDPI

Association Between Muscle Quality Assessed by the 5-Repetition Sit-to-Stand Test and Falls in Community-Dwelling Older Adults in Japan: A Cross-Sectional Study

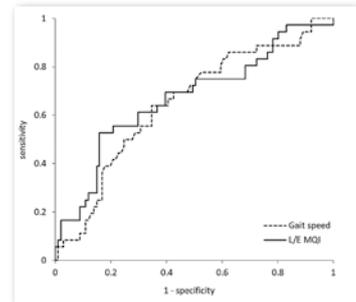
Koji Takimoto; Hideaki Takebayashi; Hiroshi Kondo; Koji Ikeda

Geriatrics 2025, Volume 10, Issue 3, 78



2025年6月、高知健康科学大学の竹林・近藤先生らとの共同研究「Association Between Muscle Quality Assessed by the 5-Repetition Sit-to-Stand Test and Falls in Community-Dwelling Older Adults in Japan」が Geriatrics 誌に掲載されました。本研究は、単位筋量あたりのパフォーマンス能力を示す筋質指標 (MQI: muscle quality index) を提案し、転倒歴との関連を検討したパイロットスタディです。近年、膝伸展トルクなど単関節筋力では転倒リスクを十分に評価できないことが知られており、また、骨格筋量が保たれていても筋質が低下している状態像が見過ごされてきた可能性があります。近年は、サルコペニアに関する国際的な統一基準であ

るGLIS基準 (2022) でも筋質に相当する muscle-specific strength の重要性が指摘されています。本研究で用いた体組成計測と5回椅子立ち座りテストによるMQIは、簡便で現場応用が可能であり、今後の縦断研究により転倒リスク評価ツールとしての活用が期待されます。



ROC曲線による下肢筋質と歩行速度の転倒歴判別性能

下肢筋質と転倒との関連		95%CI [Min-Max]	Wald	p-Value
Gait Speed	0.14	[0.03-0.76]	5.17	0.02
L/E MQI	1.28	[1.09-1.51]	9.46	<0.01



Geriatrics. 2025; 10(3): 78.

<https://doi.org/10.3390/geriatrics10030078>



## 2025年度科学研究費助成事業（研究活動スタート支援）に 作業療法学専攻教員3名が採択

高知健康科学大学（土佐リハビリテーションカレッジ）  
箭野 豊（OT3期卒）

この度、高知健康科学大学作業療法学専攻の教員3名が、「2025年度 科学研究費助成事業（科研費）」の研究活動スタート支援に採択されました。

この「研究活動スタート支援」は、研究機関に新たに採用された研究者のスタートアップを支援する制度です。今回の採択は本校にとって初となる快挙であり、教育機関としてだけでなく、大学研究機関としても新たな一歩を刻むことができました。今後は社会の発展に寄与する研究成果を報告できるよう、日々研鑽を重ねてまいります。これからの研究活動に、温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 【採択教員と研究課題】

- ◎片岡 聡子 准教授（作業療法学専攻長・こどもとおとなのウェルビーイングとエンパワメント研究室）  
研究課題：「フィジエットトイは、若年健常成人の聴覚処理中のマインドワンダリングを抑制するか」
- ◎箭野 豊 講師（作業療法学専攻・感覚と運動行動の神経科学研究室）  
研究課題：「匂い刺激が運動機能を改善する神経基盤の解明」
- ◎稲富 惇一 非常勤講師（作業療法学専攻・子ども発達心理学研究室）  
研究課題：「猛暑下における幼児の身体活動支援としてのExergamingの有効性検証」



(左から：片岡先生、箭野、稲富先生)

この度、公益財団法人 高知新聞・高知放送「いのち生命の基金」2025年度助成制度に、私の研究テーマが採択されました。「生命の基金」は、地域の医療の充実や発展のため、治療・研究・支援活動に取り組む人々を支援する制度です。今回、「健康寿命延伸の為に高齢者歩行重度化予防モデル」の研究課題に対し助成（49万円）をいただきました。

私は現在、病院で理学療法士として地域医療に従事し、対象者のQOLを日々検討しております。歩行能力はQOLの改善・維持において、重要な要素であり、また歩行の変化は、それまでの生活歴や健康状態を映し出す鏡のような役割を持っています。歩幅の小ささや乱れは歩行速度の低下や認知機能との関連が指摘されており、さらに、歩行能力の維持に必要な神経筋機能は、加齢とともに筋量や筋力よりも早く低下することが報告されています。

こうした歩行の“科学的側面”は、口頭で説明するだけでは改善につながりにくい場合があります。そこで本研究では、歩行センサーや筋電計を用いた科学的な歩行評価を取り入れ、対象者が視覚的・直感的に自身の歩行の特徴を理解できる支援方法を構築すべきと考えました。

この研究は、通いの場やデイサービスといった地域で歩行評価を行いながら、社会的フレイルや栄養状態などの項目も併せて評価し、地域で共有・活用できる包括的なモデルの構築を目指しています。こうした取り組みを通して、高齢者が“いきいきと歩き、いきいきと暮らせる”健やかな未来の実現に貢献したいと考えております。

いの町立国民健康保険仁淀病院 リハビリテーション室 池本 祐貴 (PT22期卒)



左から 細田里南 桂雅俊 池本祐貴

### 採択者とテーマ

- ◆細田里南先生 (PT2期卒 高知大学医学部附属病院)  
「小児がん患者へのデジタルツールを活用した「楽しく」「やる気」を提供するリハビリテーション治療の提案」
- ◆池本祐貴 (PT22期卒 いの町立国民健康保険仁淀病院)  
「健康寿命延伸の為に高齢者歩行重度化予防モデル」
- ◆高知健康科学大学附属地域連携支援センター (団体助成)  
「発達障害に対する運動機能向上プロジェクト」

## 新教員の紹介



### 菅原 仁 先生

神奈川県出身

1989年に高知医療学院を卒業し、36年ぶりに高知の地で教育活動に携わらせていただくこととなり、大変光栄に存じます。土佐リハビリテーションカレッジの卒業生の皆様に支えていただきながら、これからの未来を担うリハビリテーション専門職の育成に尽力してまいります。

何卒ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### 【学歴】

高知医療学院理学療法学科 卒業  
浜松大学大学院経営学研究科経営学専攻修士課程修了【修士（経営学）】  
東邦大学大学院医学研究科医学専攻博士課程修了【博士（医学）】

#### 【職歴】

湘南鎌倉総合病院  
牛久愛和総合病院  
茨城県立医療大学付属病院  
常葉学園医療専門学校  
日本工学院専門学校  
東京工科大学

#### 【専門分野】

物理療法学、運動生理学



### 石附 智奈美 先生

岐阜県出身

平成元年に作業療法士になり、東京6年、広島30年を経て高知に来させて頂きました。優しさや温かさを兼ね備えた皆さんに支えられ、高知での生活がとても心地よくなっています。お役に立てることはわずかだと思いますが、皆さんと一緒に盛り上げていきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

#### 【学歴】

信州大学医療技術短期大学部卒業  
広島大学医学部保健学科卒業  
広島大学大学院保健学研究科修了（修士：保健学）  
国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科修了（博士：保健医療学）

#### 【職歴】

心身障害児総合医療療育センター  
広島県立保健福祉大学  
広島大学

#### 【専門分野】

発達障害作業療法学



# 第35回 四国作業療法学会（高知）開催に向けて

土佐リハビリテーションカレッジ 稲富 惇一(OT15期卒)

この度、第35回四国作業療法学会の学会長を務めさせていただくこととなりました。任命・承認を賜りました高知県作業療法士会の理事の皆様、四国作業療法士会連絡協議会の皆様に心よりお礼申し上げます。また、実行委員長には学生時代の同級生である桂雅俊氏が就任しており、同世代で運営に携われることの喜びと心強さを感じています。

高知開催の歴代の学会長を振り返りますと、片岡愛子先生に始まり、淡野義長先生、畑田早苗先生、浅川英則会長と土佐リハにゆかりのある多くの方々が務めてこられています。そのバトンを受け継ぐことへの感謝と責任を胸に、実行委員一同、誠心誠意準備を進めております。

テーマは「共に前へ 一私たちは未来に何を残せるかー」とし、世代や県境、それぞれの分野を超えて、共に力を合わせてより良い未来（明日）へ繋がるように出合いと学びと気づきのある学会にしたい、という願いを込めました。会期は2026年10月17日-18日で会場は土佐リハビリテーションカレッジ／高知健康科学大学です。

本学会が未来を築く一歩となり、世代を超えての想いをつなぐ場となるよう願っております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

学 会 長	土佐リハビリテーションカレッジ <b>稲富 惇一</b>
実行委員長	高知健康科学大学 <b>桂 雅俊</b>
事務局 長	海辺の杜ホスピタル <b>佐野 秀平</b>

詳しくはこちらから!

<https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/shikokuot2025>

学会 HP 

<https://x.com/shikokuOT2026>  X

<https://www.instagram.com/shikokuot2026/>  instagram

# 第94回日本体力医学会中国・四国地方会 開催報告

## 日本体力医学会 中国・四国地方会



去る2025年6月28日(土)・29日(日)の両日、土佐リハビリテーションカレッジを会場に「第94回日本体力医学会中国・四国地方会」が開催されました。本会では、私、竹林秀晃(1期PT卒)が当番幹事を拝命し、事務局長を近藤 寛(14期PT卒)が務めました。

学会の目玉となったのは、生理学の講義でお世話になった椛 秀人先生(高知健康科学大学 教授・社会性神経科学研究室)の特別講演でした。「個体認識・

記憶を司る社会脳の研究、そして共同研究者との歩み」と題された講演は、専門的で高度な内容ながらも知的な好奇心を強く掻き立てられるものでした。講演の中で先生が研究とともに歴代の大学院生を紹介される場面は、学生への研究指導を大切にされ、愛情を持って接してこられた先生の人柄が伝わる温かい時間でした。

また、質疑応答にて「研究で心がけていること」をお伺いした際、「深く考えないこと」とユーモアたっぷりに答えられたことも、先生らしく強く印象に残っています。

本会は、PT・OTだけではなく、基礎医学・健康科学の研究者や大学院生も参加し、非常に風通しの良いざっくばらんな会です。ぜひ、皆様も、リハビリテーションの周辺領域へ視野を広げる良い機会ですので、ぜひ皆様も参加してみたいと思います。

# 6期卒 作業療法学科同窓会 開催報告

幹事: 藤原 ゆみ (OT6期卒 NPO法人 脳損傷友の会高知 青い空)  
岡村 忠弘 (OT6期卒 NPO法人 脳損傷友の会高知 青い空)  
宮城 哲哉 (OT6既卒 沖縄県宜野湾市地域活動支援センター TAPIC)

於: 2025年2月22日

2025年2月22日(土)、高知市内にて作業療法学科第6期生の同窓会を開催しました。今回「6期しぼり」と銘打って「6期を経験した方」を対象とし、卒業生14名と教員の淡野先生、須藤先生を含む計16名が参加してくださいました。実に24年ぶりの再会です!

一部は報告会として高知健康科学大学にて、山本豊和氏「ギャンブル行動症を抱える方々への支援について」、東智彦氏「ART×作業療法×学校訪問 ~ARTで地域の子どもたちを元気に!!~」、宮城哲哉氏「沖縄から高知に行って人生が変わった人の報告」、藤原「OTを軸に考えた私の人生」について報告し、会場からは活発な質問や意見が飛び交いました。

び交いました。

二部の懇親会では、学生時代のような盛り上がりを見せ、たくさんの刺激を受けた事と思います。

「また、集まろう!」次回開催への期待を胸に、今回の再会が、またこれからの活力となる事を願っております。

最後に、連絡が取れなかった仲間もあり、行き届かなかったことをお詫びいたします。また、開催につきましてご尽力いただきました竹林先生・稲富先生・箭野先生、参加してくれた方、できなかった方にも改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

文責: 藤原 ゆみ



## 卒業生の業績案内と活用方法

未来会のWebサイトにて、会員の学術的活動(学会・論文発表)や社会貢献活動、学位・認定資格の取得情報を公開しております。本コンテンツは、今後新たな活動に挑戦される会員の皆様の一助となることを目的としております。活動者の連絡先も併記しております。

ますので、相互の連携や情報交換にご活用ください。なお、情報は年度ごとに更新を行う方針です。定期的にアンケート調査を実施いたしますので、新たな実績をお持ちの会員様におかれましては、積極的なご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<h3>学位取得</h3> <p>(修士・博士)</p> <p>2021.03.29 学位取得(修士・博士) 卒業生 学位取得者一覧</p>	<h3>資格取得</h3> <p>(認定PT/OT・専門PT/OT)</p> <p>2021.03.29 資格取得(認定PT・OT、専門PT・OT) 卒業生 PT・OT関連資格 取得者一覧</p> <p>2021.03.01 資格取得(認定PT・OT、専門PT・OT) 卒業生 認定・専門PT、認定・専門OT、PTOT 協会認定 資格取得者一覧</p>	
<h3>学会発表</h3> <p>(年度別)</p> <p>2021年 学会発表 2020年 学会発表 2019年 学会発表</p>	<h3>論文発表</h3> <p>(年度別)</p> <p>2021年 論文発表 2020年 論文発表 2019年 論文発表</p>	<h3>社会貢献活動</h3> <p>社会貢献活動・講師活動・書籍執筆等</p>

会員活動アンケート調査フォーム



<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeKMNKwbfB5ftmQ-KYOyybAb8FLrG1SjXV7RMTEvSRccv2qTw/viewform>



## 公式LINEへの登録のお願い

未来会では、会員の主な情報共有手段として「土佐リハ未来会」公式LINEを開設しております。出来るだけ多くの会員（卒業生）に登録してもらい、未来会や母校からのお知らせや勉強会・イベント情報など、色々な情報をお届け出来ればと思っています。恐れ入りますが、まだ登録されていない方は、以下のリンクから、ご登録（友だち追加）ください。

なお、公式LINE料金プランの改定（2024年6月）に伴い、これまで土佐リハ①未来会PT1～25期卒、②未来会PT26期卒～、③土佐リハ未来会OT1～25期卒、④未来会OT26期卒～の4つに分けていたアカウントを、「土佐リハ未来会」1つのアカウントに一元化しました。つきましては、これまで①～④で登録いただいていた方も、右の二次元コードから登録（友だち追加）をお願いします。

**これまで登録していただいた方も、再度友だち追加をお願いします。**

土佐リハ未来会



<https://lin.ee/KuVYMBG>



## らくらく連絡網における情報共有サービス終了のお知らせ

「土佐リハ未来会」公式LINE開設に伴い、これまで未来会の情報共有手段として運用してきた「らくらく連絡網」での情報共有サービスを、今年度（令和7年度）末をもって終了することになりました。つきましては、公式LINEの登録がお済でない会員は、できるだけ早くご登録ください。以上、ご理解ならびにご協力のほど、よろしくお願いします。



※らくらく連絡網について詳しく知りたい方はホームページ (<http://www.ra9.jp/>) をご参照ください。

## 土佐リハからの重要なお知らせ ～卒業生のアカウント削除について～

卒業生 各位

平素より本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、在学中に皆様へ提供しておりました以下のアカウントサービスにつきまして、今年度末（令和8年3月末日）をもって削除させていただくこととなりました。

〈対象アカウント〉本学メールアドレス：〇〇〇〇@tosareha.ac.jp

Microsoft 包括ライセンスアカウント：〇〇〇〇@tosareha25002.onmicrosoft.com

これに伴い、以下のサービスがご利用いただけなくなります。

- ・学内メール (@tosareha.ac.jp) の送受信
- ・Google ドライブなど、@tosareha.ac.jp でログインしていた各種サービス
- ・Microsoft 365 (@tosareha25002.onmicrosoft.com でログインしていた各種ソフト [Word、Excel、Power Point 等]) の利用

お手数をおかけしますが、必要なデータ（メールやファイルなど）がある場合は、削除実施前に各自でバックアップをお願いいたします。なお、アカウント削除後はデータの復元はできませんのでご注意ください。本来これらのアカウントは在学期間中のサービスでしたが、これまで卒業後も引き続きご利用いただいております。長らくのご利用、誠にありがとうございました。何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和7年11月1日

土佐リハビリテーションカレッジ 情報管理委員会

## 全会員、定期総会アンケート(下記二次元コード)よりご回答ください

アンケートメ切 5/15 (金)

<https://forms.gle/jGrRgwGT2N6e3C349>



職場・住所変更された場合は、未来会事務局まで e-mail にてご連絡ください。

未来会事務局 e-mail : [miraikai@tosareha.ac.jp](mailto:miraikai@tosareha.ac.jp) (未来会事務局代表) TEL : 088-866-6119 (土佐リハ内)